

公表

事業所における自己評価総括表

|                |                         |     |        |           |
|----------------|-------------------------|-----|--------|-----------|
| ○事業所名          | 児童発達支援・放課後等デイサービスSORA時津 |     |        |           |
| ○保護者評価実施期間     | 令和8年2月16日               |     | ～      | 令和8年2月24日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                  | 16名 | (回答者数) | 16名       |
| ○従業者評価実施期間     | 令和8年3月3日                |     | ～      | 令和8年3月10日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                  | 5人  | (回答者数) | 5人        |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年3月25日               |     |        |           |

○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                       | さらに充実を図るための取組等                                                 |
|---|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 1 | 専門的なアセスメントに基づく個別支援計画の作成と丁寧な共有              | KIDSや遠城寺式等の標準化検査を活用し客観的に分析した上で、面談を通して保護者の意向を反映した個別支援計画を作成・丁寧な説明と同意を行っている。   | 多職種（理学療法士・言語聴覚士等）の専門性をさらに活かし、日々の支援内容やアセスメント精度の継続的なブラッシュアップを図る。 |
| 2 | 日々の密な情報共有と職員間の連携体制                         | 毎日の朝礼・終礼での打ち合わせや支援記録の共有を徹底し、業務連絡アプリ（ソフト）や送迎時の対話・電話を通じて保護者と子どもの様子を即座に共有している。 | 日常の連絡に加え、子育ての悩みや家庭での関わり方に関する個別助言・相談対応の機会をさらに充実させる。             |
| 3 | 子どもが安心して楽しめる環境と柔軟な活動プログラム                  | 職員間で活動の振り返りを行いプログラムの固定化を防ぐとともに、一人ひとりの特性や安心感に寄り添った丁寧な関わりを実践している。             | 個別活動と集団活動の組み合わせを工夫し、新規利用児等も含めてより安心・充実して過ごせる空間・活動づくりを推進する。      |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                                                | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                   |
|---|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 保護者同士の交流の場や家族支援プログラムの機会設定                  | 日常の個別相談・助言は行えているものの、保護者会やきょうだい児向けイベント等の集団的な家族支援機会を十分に設定できていなかったため。               | 保護者のニーズをアンケート等で把握し、負担にならない形式での保護者交流会やペアレント・トレーニング等の勉強会・座談会の開催を計画・実施する。 |
| 2 | 地域交流および関係機関・学校等との連携機会の創出                   | 障害児通所支援事業所連絡会等には参加しているが、保育所・幼稚園・地域住民等との直接的な合同活動やイベント交流の機会が不足していたため。              | 地域のイベント参加や近隣施設・関係機関との情報交換を深め、移行支援の円滑化とともに、地域に開かれた交流機会を段階的に検討・推進する。     |
| 3 | 非常時対応・防災訓練の保護者への周知・発信                      | 事業所内では定期的な避難訓練や各種マニュアル策定を行っているが、保護者アンケートで「わからない」の回答があり、訓練実施や計画の保護者向け共有が不足していたため。 | 避難訓練の実施報告や各種マニュアルの内容、安全管理の取り組みをホームページや連絡帳ソフトを通じて定期的に発信し、可視化と周知を図る。     |